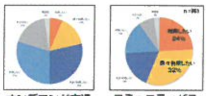
未来まちづくりニュース

2020年9月30日発行
柏ビレジ自治会
未来まちづくり部
活性化プロジェクト
3

「コミュニティバスを利用したい」 56%

(利用したい＋時々利用したい)



オンデマンド交通　コミュニティバス

オンデマンド交通とコミュニティバスの利用意向（比較）
（2020年 柏ビレジ交通アクセス住民アンケート調査結果から：詳細は2～3面参照）

TOPICS

■ 会長メッセージ
■ 2020年度活性化プロジェクトの新たな取組み
・事務局の業務効率化、IT化改革
・テレワークに適した柏ビレジで暮らす
・将棋で街おこし＠柏ビレジ
・朝の見守り活動
■ 柏ビレジの交通対策～住民アンケート調査結果から
■ 柏ビレジに「24時間対応の訪問介護看護サービス」を導入したい

■ 会長メッセージ

会長　シュピンドラー 千恵子

皆様、お元気でお過ごしでしょうか？ 新型コロナウイルス感染拡大により全ての行事が中止となってしまいました。残念ですが、有事においては致し方ありません。ただ、私たち自治会役員や未来まちづくり部・活性化プロジェクトでは、感染対策をしながら活動を止めていません。こんな時こそ、施策に集中できる絶好のチャンスと捉え、皆頑張っております。コロナ禍であってもボランティアで活動する活性化プロジェクト・メンバーは休まず柏市等と会議を重ね、交通施策(コミュニティバス)や、4面にあるビレジ全体を24時間訪問介護看護サービス・エリアにする福祉施策など、さまざまな課題に取り組んでいます。

実現に向けていくつかのハードルがあるものの、コミュニティバスを柏たなか駅と柏の葉キャンパス駅に走らせる実証実験の開始時期については、今期中にその目途をつけることを目指しております。そして、24時間訪問介護看護サービスについては来期以降のベースづくりとして、ビレジの将来のために、同じプロジェクト・メンバーが中心となり、奮闘しています。高齢化ビレジの活性化は他人事ではありません。世代の垣根を越えたやさしいまちづくりのため、皆様のご協力と応援のほど、よろしくお願いいたします。

■ 2020年度未来まちづくり部・活性化プロジェクトの新たな取組み

2020年度の活性化プロジェクトでは9名のプロジェクト・メンバーが活動しており、現在14の施策に積極的に取り組んでいます。今号では、新たに加わった施策を中心に、以下のとおりご紹介します。

■ 事務局の業務効率化、IT化改革

施策担当リーダー　シュピンドラー 千恵子

自治会の核である事務局がひっ迫しています。ビレジ開村時は回覧板を回す程度の仕事内容だったとのことですが、40年が経過し、年々業務は膨らみ複雑化しているにもかかわらず、事務処理の方法は毎年踏襲しており仕事効率がよくありません。仕事のプロセスが複雑になっているため書類や工数が多く、手順が複雑で文書の一元管理が出来ていません。これが毎年役員の負担になっており、1年交代の任期で改善する余裕もなくリレーのように引き継がれています。業務効率を上げるためのIT化、管理方法を再構築し、事務局を強化することにより、役員の負担軽減とオンライン会議導入などwithコロナの新時代への対応を図ります。

■ テレワークに適した柏ビレジで暮らす

施策担当リーダー　森田 幸次

ビレジ自治会館2Fの和室を改装し、テレワークセンターの創設を検討しています。これは同時に若いお母さんたちが小さな子を見守りながら、仕事ができる環境作りも想定しています。コロナで就労環境の大きな変化が起こり、柏ビレジが、通勤圏内かつテレワークに適したところであることをいろいろなところにPRしていく予定です。

■ 将棋で街おこし@柏ビレジ

施策担当リーダー　奥田 智子

しばらくはコロナ禍のため、開催が難しいと思いますが、柏ビレジの住民対象の将棋大会の開催を検討しています。将棋大会では参加者に家族やご近所の応援サポーターがつくなどして、近隣との親密度があがります。特に子供たちが将棋に興味を持ち自主的にルールを学ぶキッカケになればいいと考えています。優勝者は、柏市主催の将棋大会にエントリー。いつかわが街から藤井聡太8段と対局する挑戦者が登場するかも？！

■ 朝の見守り活動

施策担当リーダー　村上 伸二

2018年度から活性化プロジェクト（※当時の活性化委員会）が始めた当活動も今年で3年目になります。本年度も、柏ビレジテニスクラブ、新樹会、子供会、自治会、活性化プロジェクトなどから構成される有志18名の協力を得て、「登校中の柏ビレジ在住の小学生が事故・事件に遭わないように」との願いの下、毎週火・水・木曜日の登校時（7:30～8:00am）に、第2バス停近くの交差点で、見守り活動を続けています。

柏ビレジの交通対策～2020年柏ビレジ交通アクセス住民アンケート調査結果から(1/2)

便利な街づくり

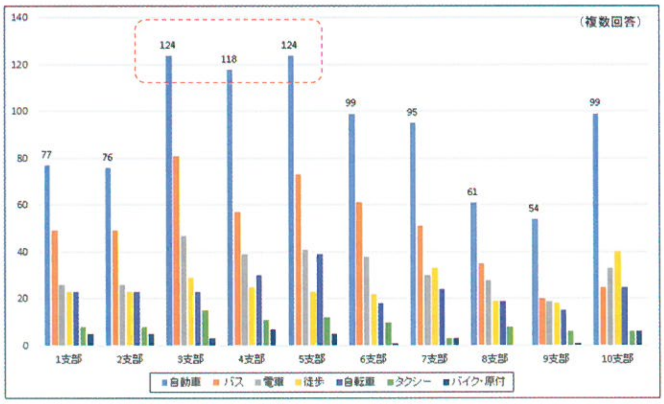
交通施策担当／シュピンドラー 千恵子・大野 達雄

柏ビレジ自治会は、進展する高齢化対策と若い世代の誘致・定着など、より快適で住みやすい街づくりを推進していくために、さまざまな課題に取り組んでいます。その一環として、最寄り駅である柏たなか駅までの交通アクセスを実現すべく、現在、柏市とともに鋭意そのプロジェクトに取り組んでいます。本年6月に柏ビレジの全住民を対象に実施した交通アンケートは、柏たなか駅までの新たな交通アクセスの実現に向け、必要となる日常の移動実態や新たな交通手段に対する意識等を把握する目的で実施させていただきました。当ニュース（第3号）の発行を機に、住民の皆さまのご協力にあらためて感謝申し上げるとともに、今回のアンケート結果について、抜粋してご報告いたします。

アンケートの概要

配布総数1,513に対し、965通の回答（回答率：63.8%）でした。また、回答者は女性が55%（男性43%）であり、年齢別では70～74歳の回答者が最も多く、65歳以上の回答者の割合が全体の72%を占めました。居住年数でも柏ビレジ販売開始時期の購入者に相当する「31年以上」の回答者の割合が58%と最多でした。

柏ビレジの交通手段（支部別）



柏ビレジにおける支部別に見た交通手段

柏ビレジ周辺図と公共交通空白地域

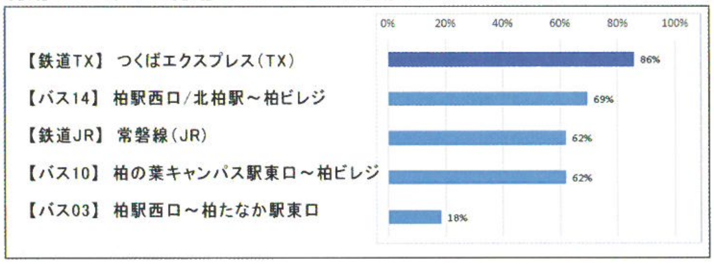
交通手段を支部別にクロス集計すると、特に3・4・5支部の「自動車」の利用者数が非常に多いことが分かります。

いずれのエリアもバス停から300m以上離れた、いわゆる「公共交通空白地域」に属しているため、自宅から最寄りのバス停まで距離があり、バスが利用しづらいことなどが関係していると思われます。

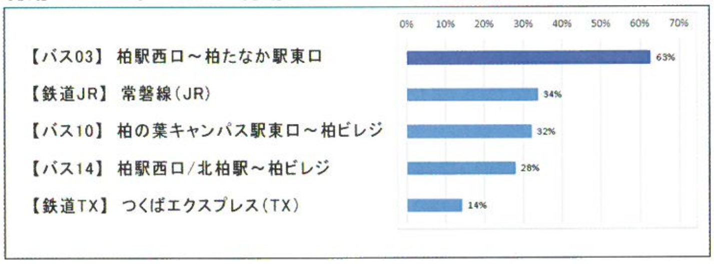
公共交通の利用状況

柏ビレジ住民が利用する交通手段は「つくばエクスプレス」が最も多く86%を占めました。続いて、「柏駅西口/北柏駅～柏ビレジ【柏14ルート】」（69%）でした。一方、「利用しない」交通手段としては、「柏駅西口～柏たなか駅東口【柏03ルート】」が63%と最も多く、柏ビレジの外周を通り、ビレジ内を経由しないバスルートのため、最寄りのバス停までが遠いなど、利便性の点から多くの住民が利用しない結果となりました。

利用する（よく利用する+たまに利用する）交通手段

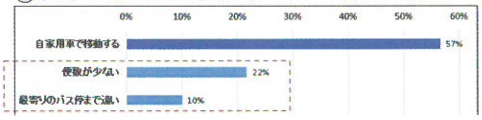


利用しない（ほとんど利用しない+利用しない）交通手段



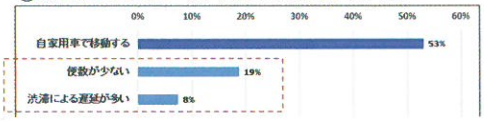
路線バスを利用しない理由

①【路線バス柏10ルート】柏の葉キャンパス駅東口～柏ビレジ



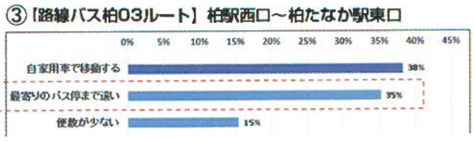
①【柏10ルート】利用者で、「路線バスを利用しない」と回答した中で、最も多かった理由が「自家用車で移動する」（57%）でした。その背景として、路線バスの「便数が少ない」（22%）ことや「最寄りのバス停まで遠い」（10%）などがあるようです。

②【路線バス柏14ルート】柏駅西口/北柏駅～柏ビレジ



②【柏14ルート】でも、同様に、「路線バスを利用しない」理由として「自家用車で移動する」（53%）が第1位となりました。こちらも「便数が少ない」（19%）や「渋滞による遅延が多い」（8%）などが、自家用車を使わざるを得ない主な背景になっているようです。

③【路線バス柏03ルート】柏駅西口～柏たなか駅東口



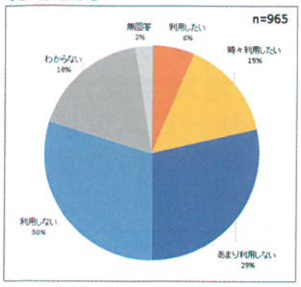
③【柏03ルート】での利用しない理由の第1位も「自家用車で移動する」（38%）でした。「最寄りのバス停まで遠い」（35%）が2位にランクされていることからも、当バスルートの場合には、柏ビレジ内を経由しない走行ルートであるため、居住場所から最寄りのバス停まで遠く、利用したくても利用できないためと考えられます。

■ 柏ビレジの交通対策～2020年柏ビレジ交通アクセス住民アンケート調査結果から(2/2)

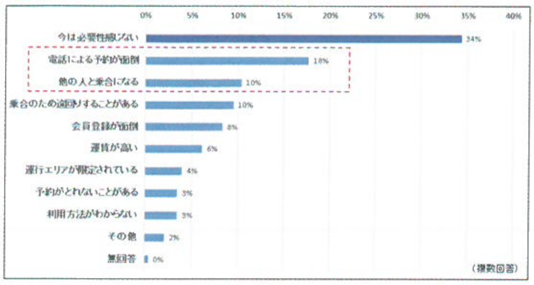
便利な街づくり

オンデマンド交通～予約型相乗りタクシーの利用意向と利用しない理由

利用意向



利用しない理由

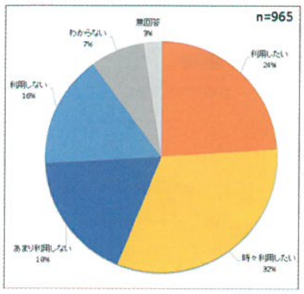


「予約型相乗りタクシー」を「利用したい」が6%「時々利用したい」が15%で、全体の21%が「利用したい」結果に。一方、「利用しない」は、全体で59%と高い割合でした。一方、利用しない理由の第1位が、「今は必要性を感じない」(34%)。続いて、「電話による予約が面倒」(18%)、「他の人と乗合になる」(10%)など、利用にあたってのある種「わずらわしさ」も理由になっているようです。

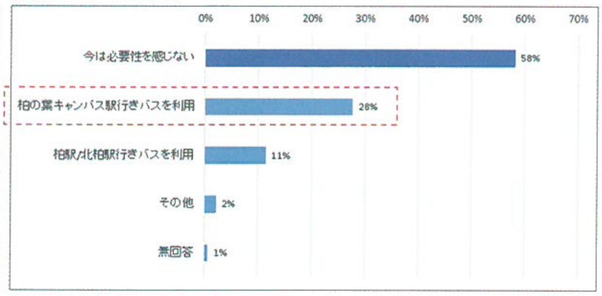
コミュニティバス～コミュニティバスの利用意向と利用しない理由

「コミュニティバス」の利用意向では、「利用したい」(24%)、「時々利用したい」(32%)と全体の56%が「利用したい」という結果になりました。一方、「利用しない」割合は全体の34%でした。「利用しない」と回答した理由として、「今は必要性を感じない」(58%)が

利用意向



利用しない理由



第1位でした。また、「柏の葉キャンパス駅行きのバスを利用」(28%)していることも、その理由の一つにあげています。

更に、「コミュニティバス」を利用する際に「何を重視するか」という点については、路線バスの「便数が少ない」現状を反映してか、「運行頻度」(30%)が第1位に、続いて「停留所が近いこと」(27%)や「運行ルート」(24%)なども重視していることが分かりました。

主なコメント(複数回答を中心に抜粋)

- ・免許返納後など、「コミュニティバスは、今後または将来的に必要」。(※コメント全体の約45%が回答)
- ・柏の葉キャンパス駅、柏駅西口ともバス運行本数が少なく通勤・通学には不便。柏ビレジでは、車が無いとても不便。
- ・交通不便を解消できれば、働き世代、学生の誘致が見込め活性化できる。高齢化が深刻になる前にコミュニティバスの実証実験に取り組んでほしい。
- ・運行頻度が最も重要で利用の可否はそれ次第。
- ・停留所は、出来ることなら自宅に近い場所で、自由に乗り降りが出来れば最高。
- ・柏の葉キャンパス駅の利用頻度が多いのでルート開設を希望する。
- ・柏の葉キャンパス駅にも行ける運行ルートを検討してほしい。柏キャンパス、柏たなかの両方に行けたら利用したい。
- ・マルエツ、モラージュ柏方面にも行ってほしい。
- ・コミュニティバスは、モラージュ、マルエツ、ヨークマート、柏市立柏病院、柏たなか病院などの施設を循環してほしい。
- ・ビレジに住んで10年。10年前から度々このようなアンケートや住民意見データ公表などあったが、全く改善、実行されず残念に思ってきた。バス本数も減る一方で心元なく住んでいる。是非、活性化を呼ぶ為にも、交通不便の改善を実現してほしい。期待している。

■ 東武バスイースト(株)や柏市交通政策課との協議状況

●交通に関する交渉経緯　自治会では深刻化する交通問題に対して、長年にわたり、東武バスに対して既存ルートの変更案(例:【03】【14】ルートのビレジ内経由)や新規ルートの開設案を提案するなど交渉を重ねてきましたが、現状の【03】バスルートが柏ビレジの外周を通るルートに一部変更された以外、残念ながらほとんど進展がありません。更に、新規ルート開設には2～7千万円の追加費用がかかる旨、確認(2020年4月)されました。長年に亘る交渉結果から東武バスに対して、コストの点からも、新規ルート開設を実現させるのはほぼ不可能な状況です。【柏10】ルートについても、東武バスに対して、多くの住民が利用する通勤・通学時における増便などダイヤの見直しを重ねてお願いしてきましたが、「柏ビレジの利用者が減っているので致し方なし」との見解。そのため、TX駅までの唯一のバス路線であるにも関わらず、ますます利便性が悪くなっています。利便性が一向に改善されないため、自家用車の利用が減らず、柏ビレジ住民による公共バスの利用者が更に減少するという「負のスパイラル」に陥っているのが実状です。

●柏市交通政策課に関する交渉内容　自治会では、2020年9月1日に柏市交通政策課に対する柏ビレジ住民アンケート調査結果の説明とそれに基づく独自の交通対策案を提示しました。具体的には、アンケート結果に基づき、コミュニティバスによる「柏たなか駅～柏ビレジ」間循環ルートの実現を最優先に、更に今回多くの住民の皆さまから寄せられたご意見・ご要望をもとに、運行体制移行時のスケールメリット等も勘案し、「柏の葉キャンパス駅～柏ビレジ」間、「柏たなか駅～柏ビレジ～モラージュ柏」間の各ルートの実現も視野に、ご検討いただくよう提案しました。コミュニティバスの一日も早い実現に向け、引き続き協議を重ねてまいります。

■ 柏ビレジに「24時間対応の訪問介護看護サービス」を導入したい。

健康な街づくり

施策担当リーダー　森田 幸次

定期巡回・随時対応型訪問介護看護～2012創設

（出典：「イラストわんパグ」）

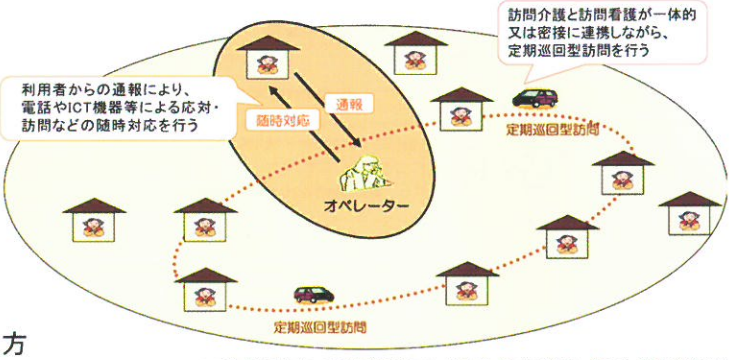
柏市では、「柏市高齢者いきいきプラン２１」に基づき、高齢者が住みなれた地域で医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスを受けることができる地域包括ケアシステムの構築を目指しています。柏ビレジもこのシステムに手を挙げるべく、柏市と交渉を開始しました。

■ 利用対象者:

要介護１～５の認定を受けている。
要支援１・２は利用できません。

■ こんな方にお勧めです：

・自宅で最後まで暮らしたい方
・退院・退所後、住み慣れた自宅で安心して過ごしたい方
・独居、日中独居、高齢者世帯等、または家族の介護が難しい方
・認知症のため、ご自宅の生活に不安がある方
・閉じこもり傾向のある方
・離れて暮らすご家族が不安を抱えている
・疾患があり、柔軟なサービスの変更が必要な方
・入所施設を探しており、それまでの間、在宅で看る体制が必要な方
・遠方の親を呼び寄せたいと思っている方



24時間対応の定期巡回・随時対応型訪問介護看護図
（出典：「社保審－介護給付費分科会」）

■ 自己負担の目安： 30日

要介護度	1割	2割	3割
要介護1	8,635円	17,270円	25,905円
要介護2	13,490円	26,980円	40,470円
要介護3	20,592円	41,184円	61,776円
要介護4	25,385円	50,769円	76153円
要介護5	30,752円	61,503円	92,255円

■ 柏市内で定期巡回・随時対応型訪問介護看護を既にやっている４ケ所の事業所：

1. 生活クラブ風の村ステーション光が丘・・・東中新宿
2. やさしい手新柏・・・豊住
3. やすらぎ・・・豊四季台
4. SOMPOケア豊四季・・・豊四季

■ 現在、将来に想定される課題：

① ヘルパーさんや看護師さんの事業所は、すぐ来てもらえる柏ビレジ内がベスト。
② 訪問医療、看取り、ショートステイのできる施設等も柏ビレジ内にあれば安心。
③ 介護に手間がかからないなら、息子・娘家族との２世帯３世帯の同居による増築・３階建てへの建替えをしたい。
④ 施設入所を考えていた高齢者が、自宅で一生暮らすプランに変更し、移住してくるかもしれない。
⑤ 要介護者の自治会役員・各種委員・当番（ゴミ出し）等を免除する仕組みも必要。
⑥ 要介護者の一人住まい、二人住まい、認知症高齢者とそれ以外の住民も安心して暮らせる仕組み。
　・住民全員が、特殊詐欺・強盗等に巻き込まれない防犯体制
　・災害への体制（介護・医療・民生委員・K-net等の連携も重要）
　・子どもから大人まで、認知症を理解し、サポートができる体制
　・各団体（新樹会、ビレジサポート、アイビーサロン、自治会役員等）の益々の事業活性化により、健康寿命を伸ばし、健康な年寄りが、若い介護者のサポートをする

※近々住民の導入の意思確認を取るため、アンケートを予定し、柏市との交渉材料にしたいと思っています。
※介護事業者の推薦がありましたら、ぜひお願いします。（アンケート項目に入れます）
　制度導入が決まれば、改めて柏市が事業者の公募を行います。
※自治会役員だけでは、構築は難しいので分科会をつくり、職場等での経験者等（医師、看護師、介護職員、警察官、消防士、防災ボランティア、その他興味を持っている人）のメンバーを募り推進したいと思っています。

（お問い合わせ先： morita_c0o2@yahoo.co.jp ）